

自動車向け 加飾フィルムに照準 大成ファインケミカル

大成ファインケミカルは、樹脂重合技術を武器にUV硬化型ウレタンアクリレート、有機・無機ハイブリッドコート材、親水化添加剤など多彩な製品を開発し、新たな需要創出につなげている。

成型フィルム用ハードコーティング向けに展開する「アクリット 8UXシリーズ」はUV硬化型ウレタンアクリレートで、3次元加飾フィルム向けをターゲットに改良を加えた製品。「加飾フィルムに要求される硬さ、伸びに加え、加工性、耐薬品性を両立した」(担当者)と今後の展開に期待感を示した。

ラインアップとして、伸び率130%を持つ「8UX-082A」と伸び率50%の「8UX-083A」を揃え、用途に応じた材料設計が可能。それぞれ透明性に優れ、塗膜の黄変がない他、スズフリーの環境対応を施した。

その他、同社ではアクリルウレタンポリマー「8BR」、アクリルポリマー「8KX」、ウレタンポリマー「8UH」と各種UV硬化型ポリマーを開発。各種特性が異なるポリマーを揃えることで、個別ニーズへの対応力を高めている。

また成長が期待されるUV/熱硬化型有機無機ハイブリッドコート材「STR-SiA」においては、社内プロジェクトを立ち上げ、車載ディスプレイをターゲットに性能レベルの改善に着手。引き続き開発にトライしていく意向。

更に同社は、親水性ポリマーや帯電防止ポリマーなども揃え、樹脂技術を活用した製品開発で差別化を自指している。